



逃げる2月

2月は「逃げる」とはよく言ったものです。あっという間に2月も終わり、残すところ今年度も3月のみとなりました。この間、北京オリンピックではアスリートの皆さんが自身の夢を叶えるべく晴れの舞台上で競技され、過去最高の18個のメダルを獲得されました。惜しくもメダルに届かなかった方々からそれぞれの思いがメディアを通して伝わってくる度に、「おつかれさま」という労いの気持ちと「感動をありがとう」という感謝の気持ちが広がっていきました。3月4日から始まる北京パラリンピックでも我々に喜びと感動を与えてくれるものと期待しております。

さて、オミクロン株はここに来て県内・市内で高止まりとなっており、収まる気配が見えない中で本校でも学年閉鎖や臨時休業を行うこととなりました。最近のPCR検査は数日おいて行う方が感染者を判明しやすいとのことから、数日にわたりお休みしていただくことになりました。学校ではこれまで同様、感染症の拡大予防に努めて参ります。ご家庭でも感染防止の徹底をお願いしますとともに、感染された方々に関する誤解や偏見に基づく誹謗中傷等がないよう特段のご配慮をお願いします。

3月は「去る」。6年生は小学校生活もあと15日。在校生も現学年は18日です。短い3月を進学・進級に向けてしっかりと締めくくってほしいと思います。ご家庭でも励ましの声かけをお願いいたします。

学習発表会をリモートで開催



11日(金)に学習発表会を行いました。各学年が生活科・総合的な学習の時間を使って「ふるさと学習」を進めてきた中で学んだり考えたりしたことをステージ発表しました。残念ながらリモートでの発表となりましたが、子ども達は目の前で見ていただいているという思いでしっかり伝えることができました。

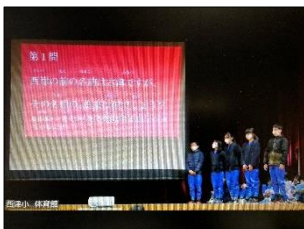
以下は保護者の皆さんからいただいた感想です。一部を紹介します。

・紅白のけん玉生中継を見ているようでハラハラしました。音声もテレビに飛ばしてクリアに聞こえましたし、小さな子が居る家庭では中継の方が落ち着いて聞けてありがたく思います。

・西津に住みながら、知らない部分や分かっていない部分がたくさんあります。学校だけでなく、家庭でも子どもと西津を知り、西津の良さを再確認したいと思います。子どもは家で、今日の発表を楽しみにして、1月からカレンダーに丸をつけて「頑張る!」と、張り切っていました。堂々とした良い発表でした。たくさん褒めて、たくさん西津の話をしていきたいと思います。このような学習の取り組みをしていただき、ありがとうございました。

・西津の事をたくさん調べたのがよく分かりました。西津小学校の卒業生ですが、自分が小学生の時にここまで西津について調べた事がなく、地藏盆も楽しくて参加しただけで、意味も歴史にも触れることなく参加していました。なので、西津についてここまで調べた3年生は自分への財産としてこれからたくさんの人に伝えていってくれる事を願います。お手製の太鼓、かね、棒振り、神輿よく出来ていました! みんなはっきりした声で発表できていて良かったです!

・何ヵ月も綱女を中心として多くの力が身に付いたと思います。地域の史実を知ること大切ですが、自己犠牲や勤労の心なども高まり、5年生にむかえるのではないのでしょうか。先生も含め全員で発表に向けて取り組んだことで、計画性や課題設定力など確かな力が身に付いたと思います。全員が活躍できてよかったです。



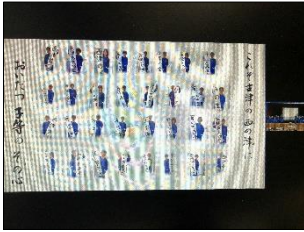
・雲龍丸には学生の頃乗る機会がありましたが、わからないことだらけで調べてくれた事を見ていろんなことを知ることができました。写真と文字で調べたことがすごく分かりやすくまとまりがあり良かったです。

・小学校最後の発表でしたが今までに学んだことをしっかり相手に伝えることができていたので良かったと思います。若狭塗り箸は全国的にも知られていることだし、すごくいいものだと思いますのでこのことを調べた6年生は自分たちのためにもなったと思うし、箸研ぎも良い体験をさせてもらって良かったです。

・どの学年も分かりやすくまとまりもあって、見ていて良かったです。今こんなにも大変なときにここまで子どもたちをまとめて良いものに完成したのも先生方のおかげでもあり子どもたちの頑張りの凄さだと感じました。見ることがもしかしてできなくなるのかな・・・と思っていましたがこのような形で生配信していただき本当に先生方も子どもたちも大変だったと思いますが、ありがとうございました。



(裏面に続きます)



・想像していた以上に声もよく聞こえて、映像も綺麗でした。これくらいの鮮明さなら家から見られるのも便利でありがたいな、と感じました。欲を言うならパソコン等の操作が苦手な保護者の方もいらっしやっと思うので、当日までに一度試し配信があってもよかったかな、と思います。しかしながら、大変な中、準備等して下さった先生方には感謝です。ありがとうございました。

・ふるさと学習はぜひ継続してほしいですが、家庭も連携して、学校まかせにしないことが大切だと思います。西津が好きな子を育てていきたいと思いません。コロナ禍で大変な中、開催方法を工夫して実施して下さり、ありがとうございました。

一年を通して学んだことを発表するという事で、子ども達につけたい力の一つ「発信力」を高めることには成果が見られたように思います。また、「ふるさと西津」を好きになった子ども達も増えました。今後は「学んだことをふるさと西津のためにどう実行していくか」を継続して考えていけるよう、新年度もふるさと学習を継続・発展させていきたいと思いません。保護者や地域の方々のさらなるご理解・ご協力をお願いします。

Zoomのライセンスの関係で全学年を視聴していただけなかったこと、申し訳ありませんでした。新年度は視聴制限が300人になる予定ですのでご安心ください。早くコロナが収束してリモートではなく生で子ども達の姿を見ていただけるようになることを心から願っています。

なわとび大会開催

17日(木)になわとび大会を行いました。8分間の持久跳びにチャレンジしました。4月から朝運動や業間で持久跳びや技跳びの練習を行ってきましたが、おもに3学期に入ってから体育を中心に練習にも熱が入ってきたようでした。サンボマスターの「できっこないをやらなくちゃ」のBGMが体育館からよく流れてきていました。また、休み時間「ジャンピングボード」のバンバンという音が頻繁に聞こえてきたことから技跳びの練習をしている様子が伝わってきました。

大会に先立った全校集会で20年前のなわとび大会の様子について話をしました。当時はビニール製ではなく綿のロープだったこと、1年生から記録を残し6年間の上達ぶりをはかったこと、技の昇級だけではなく跳んだ回数も競ったこと、個人の目標とクラスの目標のためにみんな真剣だったこと等々。「20年前の先輩達に負けないように頑張れ！」とハッパをかけました。

平成13年度 6年生のあゆみ (い・ろ合わせて)

1年生の時	持久跳び	101 (分) ÷ 46 (人) = 2.196 (分)
2年生の時		161 (分) ÷ 47 (人) = 3.415 (分)
3年生の時		189 (分) ÷ 53 (人) = 3.566 (分)
4年生の時		359 (分) ÷ 56 (人) = 6.402 (分)
5年生の時		349 (分) ÷ 55 (人) = 6.345 (分)
6年生の時		358 (分) ÷ 54 (人) = 6.630 (分)

17日の大会当日とそれまでの経過は以下の通りです。(数字は学級平均。単位は分です)



1~4年生が20年前の先輩の記録を上回り、全学年とも当日の記録が最高記録となりました。

目標に向かって努力し、成果として現れる。次への意欲にもつながるこのような教育活動を今後も続けていきたいと思いません。

□学校へのご意見・ご要望、児童に関する情報・相談については、遠慮なく学校までご連絡ください。
(学校:52-0254) 学校HP <http://edu.city.obama.fukui.jp/nishizu>

